

施設	偕行会リハビリテーション病院
所属部署	透析室
入職年	2020年入職
氏名	K・Tさん

急性期病院で9年間、看護師を経験。転居に伴い回復期である偕行会リハビリテーション病院へ入職。

2020年度が1年目となる。

①先輩看護師との関わり

看護師としての経験はあるが、透析室での業務は未経験で不安があったという。

(K・Tさん)

「透析室での仕事や長年治療を受けておられる患者さまとの関係作りが心配でした。透析室が未経験だったことはもちろん、今まで先輩方が築き上げた患者さまとの間にある関係性を、

私が1から築き上げていけるかどうか不安がありました。

しかし、入職時から教育担当の先輩と一緒に業務にあたって下さり、患者さまとの橋渡しをして下さいました。

初めての教務でしっかり教えていただけるのはもちろん、ひとり立ちしてもワンフロアに先輩達がいてくださるので、

すぐ相談ができ安心して働けます。」

また、透析室だからこそその働き方があるという。

(K・Tさん)

「ワンフロアだからこそ全員で協力して仕事ができます。

業務は分担しやすいですし、先輩が近くに必ずいるので安心して患者さまの看護ができます。

また、夜勤の無い働き方なので子育てをしている方でも看護師として働くことができ、全員が定時で帰ろうという意識の中働いているので残業もなく、働きやすい環境です。

ライフワークバランスがしっかりと保てていると思います。

とてもフレンドリーな先輩や子育てをしている先輩がいるので、プライベートのことも相談でき、毎日楽しく働いています。」

先輩看護師との関係に充実してそうであった。

②患者さまとの関わり

入職してから現在まで温かな患者さまの言葉に支えられてきたという。

(K・Tさん)

「患者さまからかけていただいた言葉で私の成長を感じられます。針の刺し方1つとっても患者さまは、

私が入職する以前から通われているので私よりもベテランです。

最初は上手にできなかった針刺しも最近は、“今日は上手にできたね”や“てきぱき働いているね”などお褒めの言葉をいただけるようになりました。

患者さまからの感謝の言葉やお褒めのお言葉をいただけることでモチベーションや成長に繋がっています。」

今後も患者さまとのコミュニケーションを大切にしていきたいという。

初めて透析という分野に挑戦し、たくさん学ぶことばかりだと話す。

そんな中でも毎日患者さまや頼りになる先輩と関わりを経て、やりがいを持って笑顔で楽しく働いている様子が伺える。

最後に一言

「透析と聞くと専門分野で難しいというイメージするかもしれませんが、患者さまとしっかり関わることができ、生活に直接繋がる看護ができます。

笑顔いっぱいの当院で一緒に働きましょう！」